

資料 4

～市民の皆さんの声をもとに描いた 「未来の八王子」の設計図～

「八王子未来デザイン2040」は、八王子市が“どのような姿を目指して、
何を行っていくのか”をまとめた本市の最上位計画です。
まちづくりをすすめていくためには、市民と行政が力を合わせて取り組むことが大切です。
そのため、本計画は、多くの声をもとに描いた姿をみんなで共有し、
その実現に向けて取り組んでいくための「未来の八王子」の設計図として策定しました。

概要版

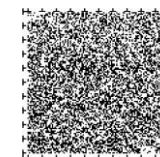
八王子未来デザイン 2040

HACHIOJI
FUTURE
DESIGN

八王子市基本構想・基本計画



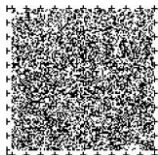
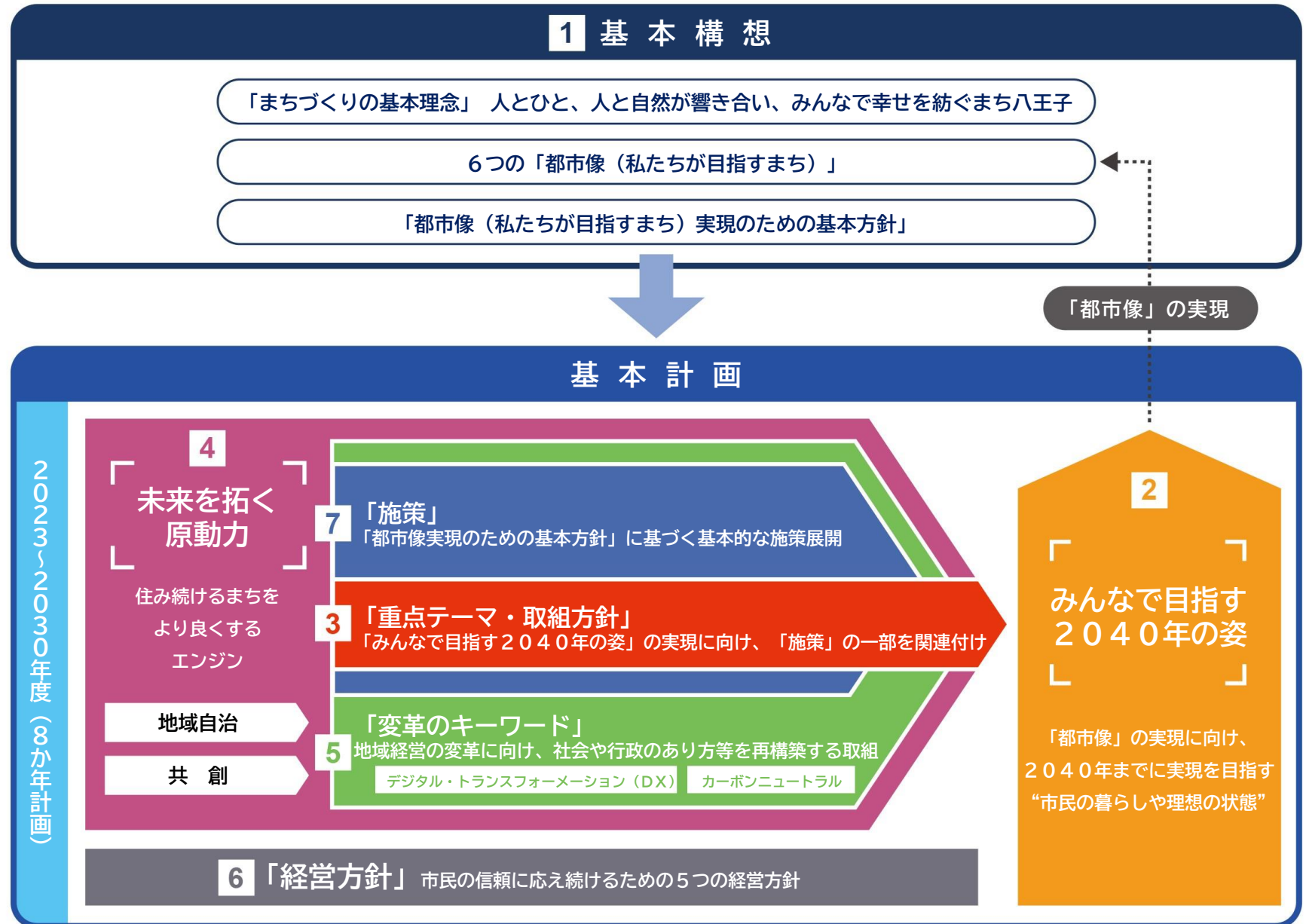
「八王子未来デザイン2040」の**全体版**は、
左の二次元コードから御覧いただけます。



音声コード
(Uni-Voice)

「八王子未来デザイン2040」の全体像

「八王子未来デザイン2040」は、「基本構想」と「基本計画」で構成しています。
2040年を展望した「基本計画」の計画期間は、令和5年度（2023年度）から令和12年度（2030年度）までの8か年です。



1 基本構想

「基本構想」は、市政運営の基本的な運営指針であるとともに、あらゆる市民の諸活動のよりどころとなるものです。

「まちづくりの基本理念」に基づいて、右図のとおり主要な政策別に6つの「都市像（私たちが目指すまち）」を定めています。

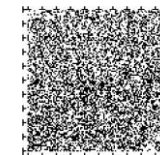
市民の“思い”である「基本構想」を受け継いで

「基本構想」は、市民184名で構成された市民会議から提出を受けた素案を踏まえて策定したものであり、平成24年（2012年）12月に市議会にて全会一致で賛成可決されたものです。

「八王子未来デザイン2040」の策定に当たっては、「基本構想」は普遍的であることを意見聴取を通して確認したうえで、策定時の思いを受け継ぎ、「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を柱とする「基本構想」を継承しています。



「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」



2 みんなで目指す2040年の姿

社会を取り巻く状況が劇的に変化し続けている中では、目の前の課題だけにとらわれず、長期的な視点を持ってすすむべき未来の方向性を定める必要があります。そのため、計画期間の先にある社会環境の大きな転換点となる2040年を展望し、2040年までの目標として、みんなで目指すわがまち八王子の11の姿を定めました。目指す11の姿は、一人ひとりの市民が未来のことを考え、明確化した目標を共有しながら行動することができるよう、多くの市民の声を聴き、“市民の暮らしや理想の状態”として表現しています。

市民や企業、大学などと目標を共有し、様々な変化に柔軟に対応しながら協働のまちづくりをすすめることで、基本構想に掲げる都市像（私たちが目指すまち）を実現していきます。

01

人とひと、人と地域など多様なつながりを実感し、ほっとする住みよいまちをみんなでついている。

02

住み慣れた地域で元気に年を重ね、人生100年時代を生き活きと暮らしている。

03

それぞれの個性を互いに認め合い、それぞれが望むフィールドで活躍している。

04

ワクワク感を持って、「やりたい！」に挑戦でき、笑顔で自分のみちをあゆんでいる。

05

子どもの幸せをみんなで分かち合い、安心と喜びを持って子育てしている。

06

一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあいながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。

07

行きたいときに、行きたいところへ簡単にアクセスでき、快適な生活を送っている。

08

地域産業のイノベーションによって、より豊かな生活を享受して暮らしている。

09

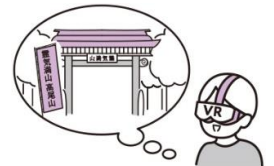
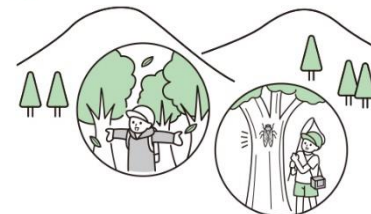
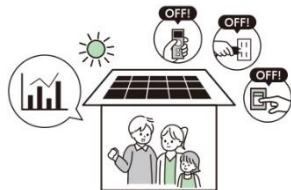
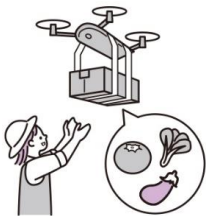
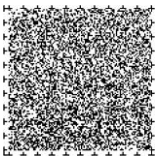
お気に入りの「ふるさと八王子」の魅力を発信し、世界が「Hachioji」の魅力を体感している。

10

地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。

11

自然と調和したまちで、みどりあふれる美しい空間を満喫しながら心豊かに暮らしている。



3 重点テーマ・取組方針

「みんなで目指す2040年の姿」を実現するため、令和12年度（2030年度）までに重点的・分野横断的に取り組む内容として、「重点テーマ・取組方針」を定めました。（以下では、(1)~(3)は重点テーマ、ア~ウは取組方針を示しています。）

(1) 未来の主役づくり

- ア 地域全体で子育てを支えるとともに、切れ目のない質の高い教育を通して、未来を担う子どもの「生きる力」を育みます。
- イ 多様な学びの機会を創出し、誰もが働きやすく、社会参加できる環境を整えることで、一人ひとりの「自己実現力」を育みます。
- ウ 日常生活の中で健康になれる環境と地域医療体制を整備するとともに、セルフケア能力を高める支援を通して、一人ひとりの健康を育みます。



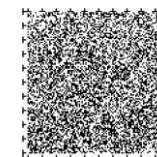
(2) 未来へのつながりづくり

- ア 多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、市民力・地域力をもとにして、地域が主体的に支えあえる「地域づくり」を推進します。
- イ 日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ、地域活動や地域の産業・経済の活性化をはかるほか、豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進します。
- ウ 豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、産学官民連携で革新的なイノベーションによる価値創造を目指します。



(3) 未来に続く都市づくり

- ア 自助・互助・共助・公助の連携強化をはかるとともに、自然や先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりを推進します。
- イ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォークアブルなまちづくりを推進します。
- ウ 自然環境と都市機能が調和した都市の実現に向け、再生可能エネルギーの導入推進・普及など持続力を生み出す取組を推進します。



4 ^{ひら}未来を拓く原動力（住み続けるまちをより良くするエンジン）

「八王子未来デザイン2040」では、前計画「八王子ビジョン2022」の柱である「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を継承しつつ、より発展的に捉えた「地域自治」と「共創」を「未来を拓く原動力」として掲げます。

地域自治

地域のことを自分たちで考え、ともに行動することでみんなの幸せを実現していくこと。

「人とひととの支えあい、つながり」は、本市の「まちづくりの基本理念」を定めるに当たった重要な要素であり、その一つの具体的な形が地域コミュニティです。近年、地域活動の担い手の減少やライフスタイルの変化、単身世帯の増加などにより地域とつながるきっかけがない状況などから、地域コミュニティの活力低下が懸念されています。一方で、地域が抱える課題は、多様化・複合化しており、地域の実情を踏まえたきめ細かい対応による持続可能な地域コミュニティの形成が求められています。

そこで本市では、地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、その向上や解決に向けて、地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働していくための仕組みを構築する「地域づくり」を推進しています。

「地域づくり」では、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい中学校区を基礎単位としたうえで、地域の自立性・主体性を尊重しながら、地域単位での多様な施策・事業の展開をはかり、新しい地域のつながりを育み、行政組織のあり方や役割を再構築していきます。

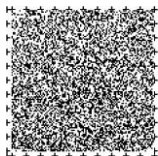
「地域づくり」を通して、地域のことを自分たちで考え、行動することで、みんなの幸せを実現していく「地域自治」を推進し、地域と行政がともに未来へ向かって歩んでいきます。

共創

対話と共感から、新たなソリューション（解決策）をとも（共）に創り出すこと。

活力あふれる自立都市の実現を目指していくために、市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」は重要な要素であり、引き続き豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめていきます。

一方で、今後は、生産年齢人口の減少に伴う介護をはじめとした医療・福祉分野の従事者の不足や、人口減少・少子高齢化の進行に伴う公共交通サービス水準の低下、国内消費市場の規模縮小による地域経済の衰退、さらに、気候変動による激甚化する災害への対応など、これまで経験したことのない課題に立ち向かうことが必要です。これらの課題解決には分野や領域を超えた組織間での課題共有、連携が必要であるとともに、更なる課題にも対応し続けていかなければなりません。そのため、企業、大学などとの対話と共感を起点に、とも（共）に考え、創造していく仕組みを市が主体的に構築し、地域課題、社会課題のソリューションを創出する「共創」を継続できる社会を目指していきます。



5 変革のキーワード（新時代を生き抜くみんなの合言葉）

社会の一員として地球規模で考え、私たちの地域から行動し、変革を起こしていきましょう。

新たな価値を創出する地域経営（地域の持続可能な発展に向けた活動）の変革に向け、多様な主体とともに社会や行政のあり方等を再構築する「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」「カーボンニュートラル」を「変革のキーワード」として定め、あらゆる場面を通じて取組をすすめていきます。



思い描く未来のまちの実現に向けて。人による、ひとのためのDXを推進しましょう。

デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは、「デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」です。様々な社会環境の変化が見込まれる中、環境・社会・経済の持続可能性を向上させるためにはDXが必要です。

社会全体のDXをすすめるためには、行政サービスのDXのみならず、企業の技術力や大学の研究成果、シビックテック（市民がテクノロジーを活用して行政や地域社会の課題を解決しようとする取組）などが必要です。

みんなの力を結集しDXを推進することで、人とひととのつながりを深め、誰一人取り残されることなく地域の中で支えあい、豊かな暮らしを実現していく、地域共生社会を目指します。



2050年、更にその先の未来のために。今から、自分ができることを実践しましょう。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。本市は、令和4年（2022年）2月に、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）」を目指し、市民・事業者・行政の「オール八王子」で脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組むことを宣言しました（ゼロカーボンシティ宣言）。

地球温暖化による気候変動の影響は、近年、気象災害の頻発など顕著に現れています。将来にわたり、恵み豊かな環境を次世代に引き継いでいくため、脱炭素への取組を強化していく必要があります。

それぞれができる取組により、新たな価値や大きな成長を生み出し、カーボンニュートラルの達成、脱炭素社会の実現を目指します。

6 経営方針

これからの市政運営に当たり、市民の信頼に応え続けるための5つの経営方針を定めました。

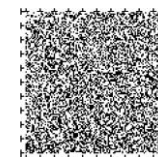
方針1 多様な主体による価値創造を促進する。

方針2 未来視点で賢く投資する。

方針3 「スマート市役所」を実現する。

方針4 持続可能な財政基盤を次代につなぐ。

方針5 チャレンジする組織になる。



7 施策

基本構想の6つの都市像（私たちが目指すまち）実現のため、37の施策を定め、体系化しています。

都市像1 みんなで担う公共と協働のまち

施策番号	01	つながりから育む地域主体のまちづくり
施策番号	02	豊かな地域社会を築く市民と行政の協働
施策番号	03	市民と行政の相互理解を深める情報収集・発信
施策番号	04	市民満足度を高めるサービスの提供
施策番号	05	自立都市に向けた機能充実
施策番号	06	持続可能な行財政運営

都市像2 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

施策番号	07	一人ひとりが尊重される地域社会の構築
施策番号	08	一人ひとりの暮らしに寄り添う相談・支援の充実
施策番号	09	地域共生社会の実現に向けた基盤づくり
施策番号	10	誰もが安心して暮らすための地域福祉の推進
施策番号	11	こころと身体の健康を支える地域保健の推進
施策番号	12	安心につながる医療体制の充実

都市像3 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

施策番号	13	全ての子ども・若者が健やかに育つ環境の充実
施策番号	14	子どもを育む家庭への支援
施策番号	15	生きる力を育む学校教育の推進
施策番号	16	地域とともにある学校づくり
施策番号	17	子どもの学びを支える教育環境の充実
施策番号	18	学びの循環を生み出す生涯学習の推進
施策番号	19	健康と活力を育むスポーツ・レクリエーションの充実
施策番号	20	豊かな心とつながりを育む文化振興
施策番号	21	市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用

都市像4 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

施策番号	22	魅力ある持続可能なまちづくり
施策番号	23	人と自然にやさしいまちづくり
施策番号	24	強さとしなやかさを持ったまちづくり
施策番号	25	安全で安心な暮らしを守る体制・対策の強化
施策番号	26	安全で円滑な交通環境の構築
施策番号	27	快適に移動できる公共交通基盤の形成

都市像5 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

施策番号	28	八王子を支える地域産業の基盤強化
施策番号	29	人材が活躍できる働く環境の整備
施策番号	30	地域活性化に向けた産業イノベーションの創出
施策番号	31	にぎわいを創出する産業の振興
施策番号	32	農林業と都市の共生

都市像6 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

施策番号	33	環境を守り育む人づくり
施策番号	34	オール八王子で取り組む脱炭素に向けたまちづくり
施策番号	35	地球にやさしい循環型社会の形成
施策番号	36	未来に潤いをもたらすみどりと生物多様性の保全
施策番号	37	安全で良好な生活環境の確保

令和5年（2023年）3月

発行 八王子市

編集 八王子市未来デザイン室

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-626-3111（代表）

FAX 042-627-5939

